

～医療生協健文会の職員のみなさま～

メロス通信 不定期便



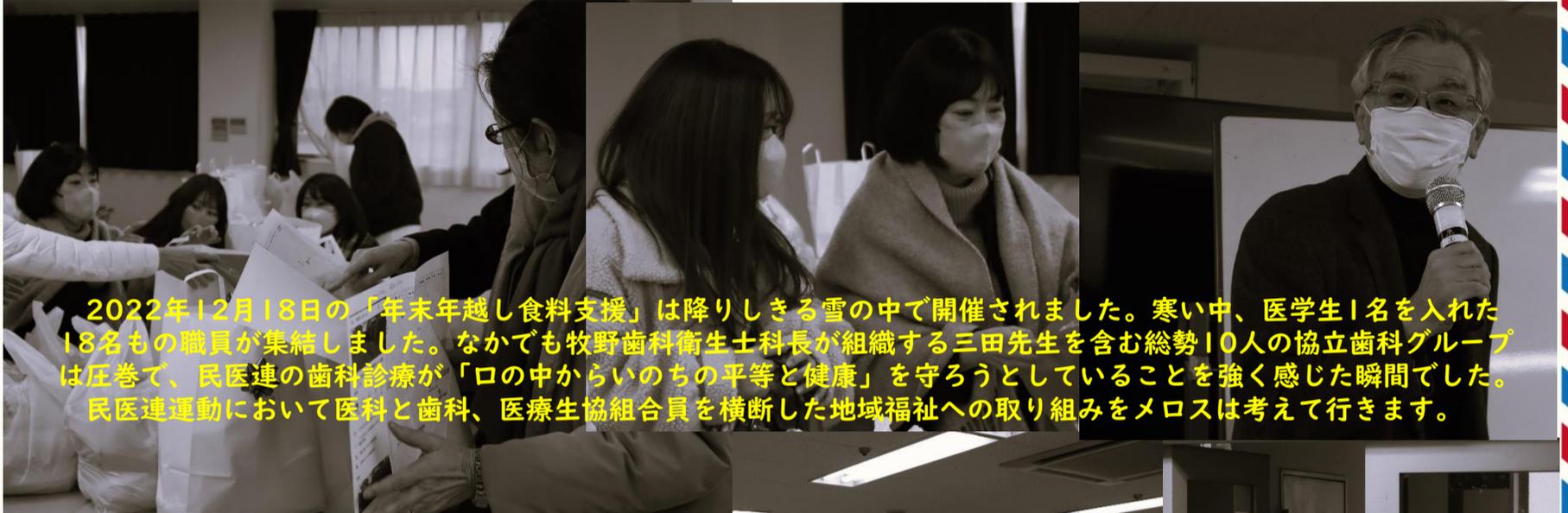
Vol.03

2023年1月号

発行：地域福祉室



年末年越し食料支援へのご協力を有難うございました
心かよう、笑顔あふれる、温かな取り組みになりました

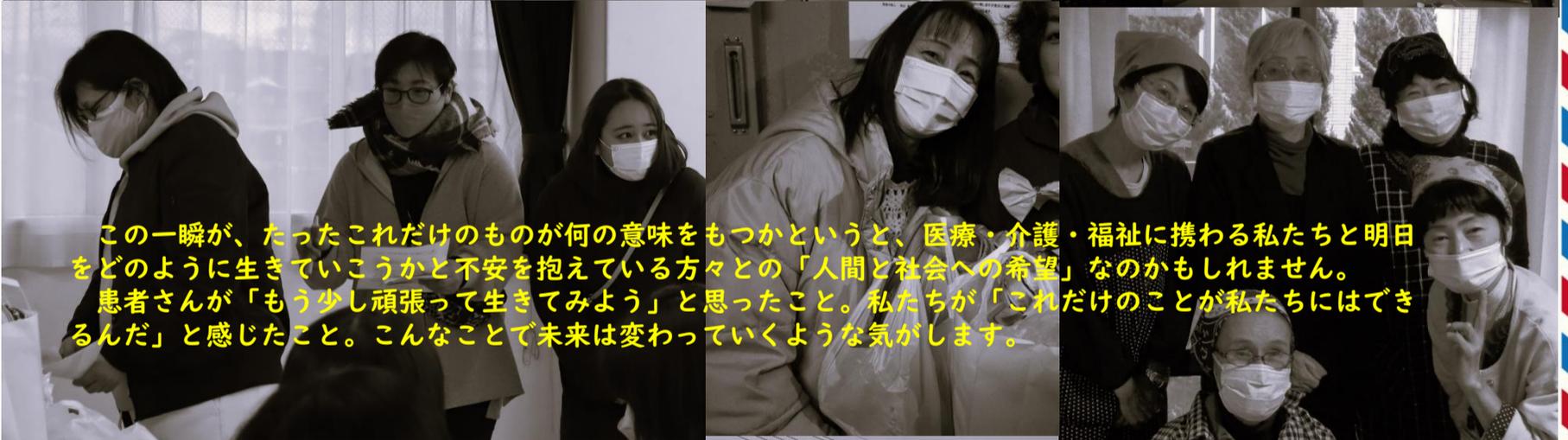


2022年12月18日の「年末年越し食料支援」は降りしきる雪の中で開催されました。寒い中、医学生1名を入れた18名もの職員が集結しました。なかでも牧野歯科衛生士科長が組織する三田先生を含む総勢10人の協立歯科グループは圧巻で、民医連の歯科診療が「口の中からのちの平等と健康」を守ろうとしていることを強く感じた瞬間でした。民医連運動において医科と歯科、医療生協組合員を横断した地域福祉への取り組みをメロスは考えていきます。



この企画には本当にたくさんの方のご支援がありました。募金は**104,196円**に上り、食料の**カンパ**もいっぱい集まりました。これが健文会の底力であることを痛感しました。

前日には組合員さんが中心となり餅つきボランティアも開催され、心のこもった品々が**35世帯50人**の方々に届けられました。「これでやっと年が越せます」「涙が出ます」「これからも頑張っていきます」と喜びの声がたくさん寄せられました。



この一瞬が、たったこれだけのものが何の意味をもつかということ、医療・介護・福祉に携わる私たちと明日をどのように生きていこうかと不安を抱えている方々との「人間と社会への希望」なのかもしれません。患者さんが「もう少し頑張って生きてみよう」と思ったこと。私たちが「これだけのことが私たちにはできるんだ」と感じたこと。こんなことで未来は変わっていくような気がします。



こうして一番希望を感じたのは室長である私かもしれません。みなさま明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。